私たちは、創業以来20年にわたり、あと施工アンカー工事·販売、ダイヤモンド工事·
工具販売とともに、アンカー施工·コンクリート強度等の各種試験·検査を行っています。
アンカー引張試験は年間300件、鉄筋探査は年間200件以上を実施。
高いご評価をいただいている調査·検査には、この経験が活かされています。

鉄筋探査

年間200件

鉄筋探査について

コンクリート建造物の修繕·改築·保守·耐震補強等の工事で、鉄筋等の切断事故を未然に防ぐことを目的に、コンクリート構造物内の配置状況を確認するために行われるものが鉄筋探査です。大きく2種類に分かれます。

1 電磁波誘導法

電磁誘導装置の励磁コイルに交流電流を流すことで発生する磁界内に試験対象物を配置し、探査を行う方法です。この方法で、配筋状況、鉄筋径、かぶり厚の計測が可能です。

2 電磁波レーダ法

RCレーダを使用して、マイクロ波帯の電磁波をコンクリート内部に向けて連続放射し、対象物(鉄筋等)からの反射を利用して対象物の位置や深さを検知する方法です。鉄筋等の位置や深さの計測が可能です。

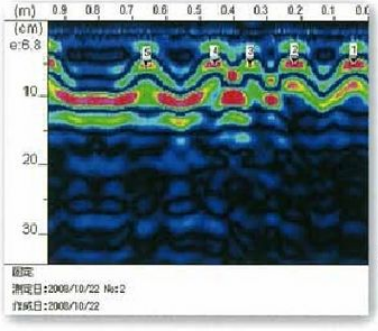
なお平成18年度より、国土交通省は新設橋梁に対して、コンクリート施工後の鉄筋探査およびテストハンマーによる品質管理を義務づけました。一般的な工事においても、自主検査として鉄筋探査が広く行われています。今後もこの傾向は増大していくものと考えられます。

当社はこの状況に対応するため、協力関係にあるゼネコンの技術研究所の協力により自社認定資格制度を制定。資格保持者による鉄筋探査を、年間200件以上実施しています。



電磁波レーダ
鉄筋探査





測定画像